

新・沖縄21世紀農林水産業振興計画（案）  
施策・事業の展開  
【概要】

令和4年9月  
沖縄県農林水産部

# 1 おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化（概要）

## 基本的な考え方

**生産量の増大・品質向上の実現** ⇒ 亜熱帯海洋性気候等の優位性を生かした国内外で認められるおきなわブランドの確立に向けた活力ある産地の形成と強化

## 施策・事業の展開

### (1) 野菜・果樹・花き類等の生産振興

- ・経営規模の拡大や担い手への農地集積等(P35 23行目)
- ・栽培技術の高位平準化、スマート技術の導入  
新たな技術や品種の普及(P35 24行目)
- ・気象災害に強い栽培施設等の整備、農業用機械等の整備  
(P35 23行目)
- ・(かんしょ・薬用作物)優良品種の開発・普及、サツマイモ基腐病  
対策等栽培体系の改善(P37 25行目)

### (2) 肉用牛・養豚の生産振興

- ・(肉用牛)飼養規模拡大、生産コスト低減、優良種雄牛の造成  
による肉質向上・斉一化(P38 4行目)
- ・(肉用牛)肥育牛の増頭と肥育技術の向上(P38 7行目)
- ・(養豚)「沖縄アグー豚」の保全、優良種豚の増殖・普及  
(P38 33行目)
- ・(共通)畜産クラスターの仕組みを活用した施設整備や経営  
安定化対策、飼料自給率の向上(P38 14行目)

### (3) さとうきび等の安定品目の生産振興

- ・(さとうきび)生産基盤の整備、機械化の促進、優良品種の  
開発・普及(P39 21行目)
- ・(さとうきび)生産法人、受託組織等の育成、経営規模拡大  
(P39 24行目)

- ・(パインアップル)品種の組合せ、生産施設導入(P40 16行目)
- ・(水稻・葉たばこ等)経営の安定化(P40 34行目)
- ・(酪農)乳用牛の改良、消費拡大(P41 19行目)
- ・(養鶏)安定供給、畜防疫衛生対策(P41 33行目)

### (4) 林産物の生産振興

- ・(木材)自然環境に配慮した森林施業、森林認証等の  
取得・更新(P42 12行目)
- ・(きのこ類)生産加工施設の整備、担い手の育成  
(P42 24行目)

### (5) 沖縄型のつくり育てる漁業の振興

- ・計画出荷ができる拠点産地の形成、各種施設の整備、  
技術の開発・普及、共済、融資事業の充実・強化(P43 11行目)

### (6) 資源管理型沿岸漁業の振興

- ・資源管理型漁業の推進、資源管理手法の開発、漁場環境  
の保全、漁港・漁場・関連機能施設の整備(P43 11行目)
- ・漁業者の安全操業体制の確保(P43 15行目)

## 2 県産農林水産物の安全と消費者信頼の確保（概要）

### 基本的な考え方

**安全と信頼確保の実現** ⇒ **衛生・品質管理の強化と特定家畜伝染病等の侵入リスクに備えた危機管理体制の強化**

### 施策・事業の展開

#### (1)生産段階の品質管理の強化と表示の適正化の推進

- ・農業生産工程管理(GAP)の導入促進(P44 23行目)
- ・食品表示の適正化に向けた巡回調査や講習会(P44 34目)
- ・トレーサビリティの強化(P45 1行目)
- ・畜産業の人工授精業務マニュアル作成・指導(P45 4行目)

#### (2)県産農林水産物の高度な衛生管理の推進

- ・(畜産物)HACCP方式を取り入れた管理体制の整備(P45 21行目)
- ・(水産物)生産から販売までの高度衛生管理体制の強化(P45 23行目)

#### (3)特殊病害虫等の侵入防止

- ・侵入警戒調査や不妊虫放飼等の継続実施(P45 36行目)
- ・イモゾウムシの根絶に向けた防除対策(P46 6行目)
- ・新たな侵入病害虫の発生警戒調査及びまん延や侵入防止等の防除対(P46 10行目)

#### (4)特定家畜伝染病対策の強化と徹底

- ・各関係機関と連携した特定家畜伝染病の危機管理体制の強化(P46 34行目)
- ・初動防疫体勢及び飼養衛生管理基準遵守指導の強化(P46 35行目)

#### (5)環境に配慮した病害虫防除対策と鳥獣被害防止対策の推進

- ・生産者の農薬適正使用を促す講習会や販売者への適正販売指導(P47 14行目)
- ・総合的病害虫・雑草管理(IPM)の考えに基づいた防除技術の確立及び推進(P47 26行目)
- ・野生動物の定期的な捕獲や侵入防止策の設置等の有害鳥獣の捕獲活動等への支援(P48 13行目)

### 3 多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化（概要）

#### 基本的な考え方

多様なニーズへの対応 ⇒ 流通・販売・加工機能の高度化・合理化によるフードバリューチェーンの強化

#### 施策・事業の展開

##### (1) 農林水産物の輸送コストの低減対策及び総合的な流通の合理化

- ・輸送コストの一部を支援 (P49 13行目)
- ・コールドチェーン体制の確立、船舶輸送を基本とするモーダルシフトの促進 (P49 14行目)
- ・地域特産物の出荷コストの負担軽減、地域間共同輸送の促進 (P49 16行目)
- ・(中央卸売市場)流通環境の変化に対応した機能強化、建て替えを含め老朽化に伴う各種対策 (P49 19行目)

##### (2) 多様なニーズに対応する戦略的な販路拡大と加工・販売機能の強化

- ・マーケットインの視点やデジタル技術を活用したマーケティング戦略 (P50 14行目)
- ・輸出促進のためマーケティング調査やプロモーション活動の展開 (P50 27行目)
- ・情報発信等の強化、県産農林水産物の認知度向上 (P50 30行目)

##### (3) 食品産業など他産業との連携による農林水産物の付加価値向上

- ・マーケティングに基づく加工品の開発、製品の改良、販路開拓等の支援 (P51 19行目)
- ・安定した生産供給が可能な産地の育成や商品開発 (P51 22行目)
- ・健康機能性等のエビデンスに基づくブランディング (P51 24行目)

##### (4) 地産地消等による県産農林水産物の消費拡大

- ・直売所等の地産地消拠点の活性化支援 (P52 16行目)
- ・県内ホテル・飲食店等の連携強化 (P52 17行目)
- ・学校教育関係者や食品事業者等との食育 (P52 19行目)
- ・生産者と需要者のマッチングを支援、観光産業や食品産業における商品開発や利用促進 (P52 22行目)

##### (5) 製糖業の経営基盤強化と高度化推進

- ・製造経費低減や省力化、省エネ・環境対策等による合理化の推進 (P53 14行目)
- ・老朽化対策に向けた製糖設備の整備に対する支援 (P53 15行目)
- ・多用途利用・総合的利用の促進 (P53 20行目)

## 4 担い手の育成・確保と経営力強化

### 基本的な考え方

農林漁業者の担い手の減少や高齢化に対処し、経営感覚に優れた担い手の育成と競争力ある経営基盤の強化を図るため、経営規模拡大や収益力強化に取り組む

### 施策・事業の展開

#### (1)担い手の育成・確保

- ・(新規就業者育成・確保) 新規就農希望者等に対し施設・技術・資金等の経営資源の支援および、就農相談から定着までの一貫した就農支援(P54 21行目)
- ・(農業法人育成) 農業技術・経営等の知識の習得のための経営サポート体制の強化、将来的に雇用就農の受け皿となる農業法人の育成を支援(P55 29行目)
- ・(多様な担い手育成・確保) 教育関係機関との連携による体験学習の支援、高齢農業者の技術継承支援、女性農業者者の経営参画支援(P56 3行目)
- ・(幅広い農業参画) 青年層や女性層、農外からの新規参入者、農福連携等の推進(P56 30行目)

#### (2)農林水産業の経営安定対策の充実

- ・(金融制度) 担い手の円滑な資金調達の支援や農業災害資金の融通・利子助成(P57 15行目)
- ・(共済制度) 農業共済や収入保険制度、漁業共済への加入促進(P58 18行目)
- ・(価格安定対策) 価格安定制度の的確な運用(P58 34行目)

#### (3)担い手への農地の集積・集約化の促進

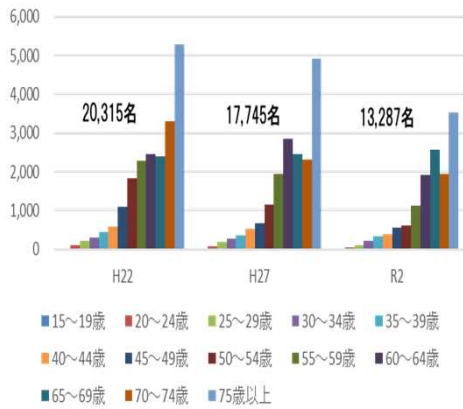
- ・「人・農地プラン」の実行や農地中間管理機構等の積極的な活用を通じた担い手への農地集積、集約化(P59 20行目)
- ・担い手の確保困難な地域での企業等の参入による農地の有効活用(P59 25行目)
- ・農業振興地域制度及び農地転用制度の適切な運用による優良農地の保全、確保と有効利用(P59 30行目)

#### (4)農林漁業団体の組織強化を通じた力強い経営体づくり

- ・関係機関と連携した認定農業者等の育成(P60 12行目)
- ・農業協同組合の経営基盤の強化促進による営農指導体制の充実・強化(P61 18行目)
- ・森林組合、漁業協同組合の経営基盤強化による指導体制の充実(P61 19行目)

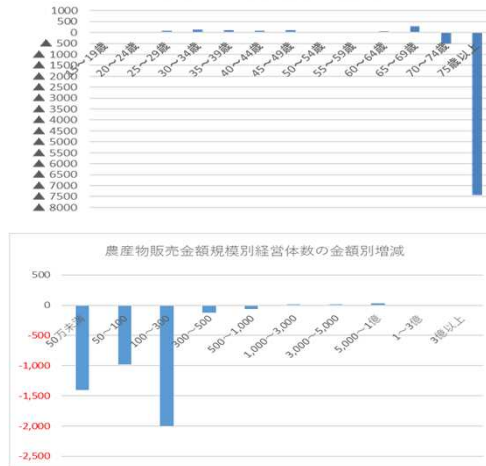
# 参考資料（４ 担い手の育成・確保と経営力強化）

基幹的農業就業人口の年齢階層別の構造変化

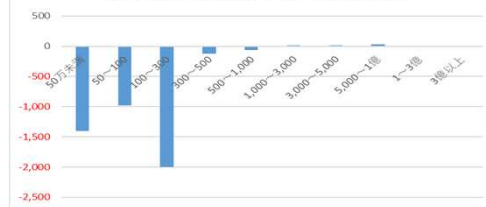


基幹的農業就業者数に係る区分		2010(H22年)	2015(H27年)	2020(R2年)
65歳以上の	沖縄	54.0	54.7	60.5
占有割合(高齢化率)	全国	61.1	64.6	69.6
49歳以下の	沖縄	13.7	11.8	12.2
占有割合	全国	10.6	10.1	10.8

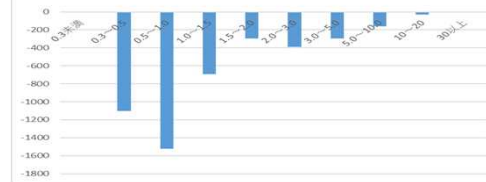
H22年基幹的農業就業人口の階層年齢を上げた場合と実際のR2年基幹的農業就業人口の比較(10年間の正味増減)



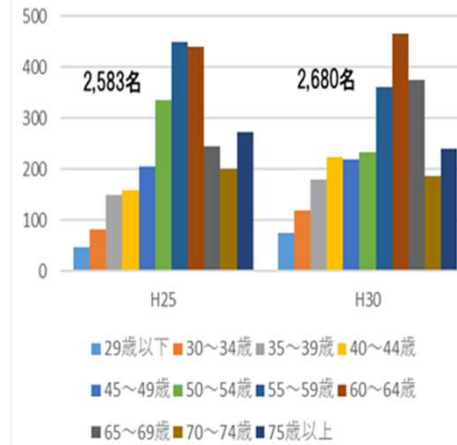
農産物販売金額規模別経営体数の金額別増減



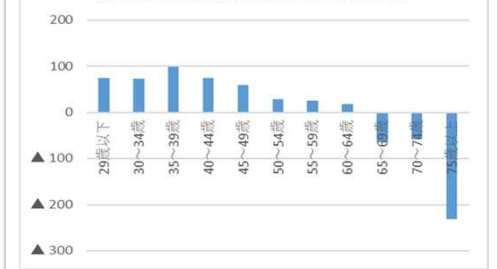
経営耕地面積規模別経営体数の面積別増減



基幹的漁業従事者の年齢階層別の構造変化(沖縄)

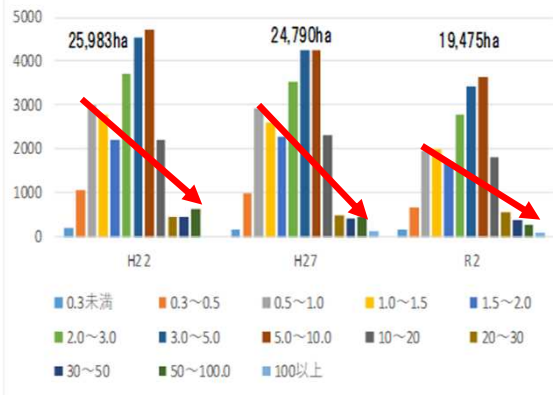


H25年基幹的漁業従事者の階層年齢を上げた場合と実際のH30年従事者数の比較(5年間の正味増減)

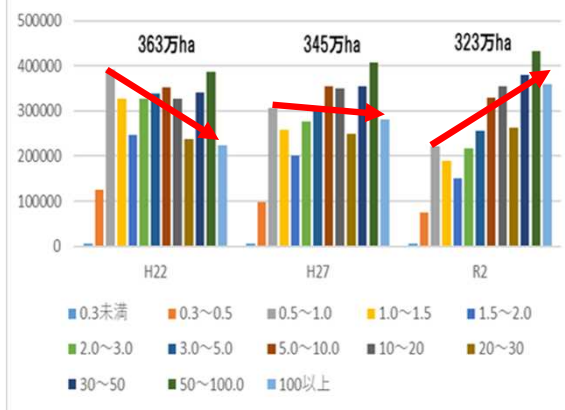


基幹的漁業従事者数に係る区分		2013(H25年)	2018(H30年)
65歳以上の	沖縄	27.8	30.0
占有割合(高齢化率)	全国	49.2	53.3

経営耕地面積規模別面積の構造変化(沖縄)



経営耕地面積規模別面積の構造変化(全国)



1経営体あたり経営耕地面積(ha)	H22	H27	R2	拡大幅(H22-R2)
沖縄	1.66	1.70	1.76	106.0%
全国	2.19	2.54	3.05	139.3%
都府県	1.59	1.82	2.15	135.2%

## 5 農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進

### 基本的な考え方

現場のニーズに即した様々な課題に対応するため、デジタル技術等の先端技術の活用によるイノベーションの創出や亜熱帯地域の特性を生かした農林水産技術の開発等に取り組む

### 施策・事業の展開

#### (1) デジタル技術等を活用したスマート農林水産技術の実証と普及

- ・(農業) 研究機関や普及組織等における情報の共有を進め、実証ほや展示ほなどを活用し、速やかな実装を図る (P62 20行目)
- ・(畜産業) 家畜のセンシング監視システムや畜舎環境制御システムなどの研究による沖縄型スマート畜産の確立 (P63 6行目)
- ・(林業) 効率的に森林資源の情報を把握するドローンやGIS等の新たなICTを活用したスマート林業の実証 (P63 31行目)
- ・(水産業) 重要水産資源の漁場環境解明や漁場形成予測など、漁業支援システムの構築に関する技術開発 (P64 13行目)

#### (2) 多様なニーズや気候変動等に対応した品種の開発と普及

- ・(農業) 気候変動に対応しつつ、多様化するニーズに対応した優良品種の開発 (P65 4行目)
- ・(畜産業) 遺伝的能力の高い種雄牛の造成や繁殖性や肉質に優れた沖縄アグー種豚の改良増殖手法の確立 (P65 23行目)
- ・(林業) 沖縄の気候に適した県産きのこ類の研究、早生樹の優良個体の選抜育種、松食い虫抵抗性リュウキュウマツの研究 (P66 2行目)
- ・(水産業) 漁場環境の変動等に対応可能なモズク株の系統選抜、海洋深層水を活用したクルマエビ養殖関係技術の開発 (P66 20行目)
- ・種苗法や特許法に基づく知的財産の保護・活用 (P67 2行目)

#### (3) 地域特性を最大限に生かした農林水産技術の開発と普及

- ・低コスト化を可能とする栽培技術など地域特性を生かした技術開発 (P67 15行目)
- ・自給飼料を用いた肥育技術の確立や未利用資源の畜産利用技術などの研究開発 (P68 14行目)
- ・既存養殖対象種の生産安定と増産を目的とした種苗生産、養殖、魚病等の技術開発 (P69 36行目)
- ・関係機関連携による実証ほや展示ほの設置による迅速な現場普及 (P70 30行目)

#### (4) 農林水産技術の国際交流の促進

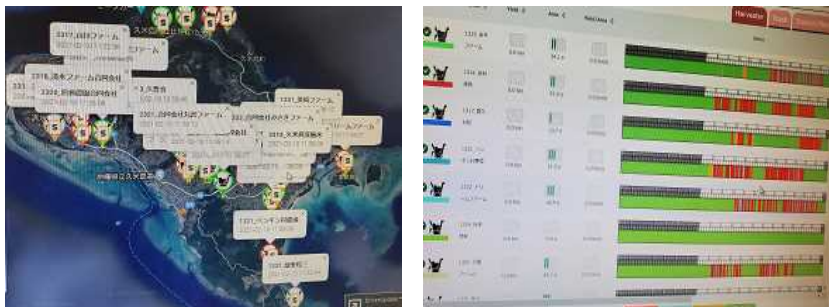
- ・東南アジア・太平洋地域諸国との技術、知識等の資源を効果的に活用するため技術交流を展開 (P72 12行目)
- ・JICA等の団体と連携し、島しょ地域等からの海外研修生の受入れや技術交流支援 (P72 21行目)

# 参考資料 沖縄におけるスマート農林水産業の主な取り組み状況

スマート技術については、**本土と異なる気象環境**への対応、導入コストや維持管理の観点からの**適正導入規模の検討**や**共同管理・委託・法人化等の体制検討**、**各品目や地域で解消したい課題**(省力化、品質向上、可視化)が異なることから、**県・市町村・関係団体等連携のもと、各品目毎に実証・展示を兼ねたモデル産地の展開を通じ、普及を予定**。

## <農業>

- ・GPS情報によるさとうきび収穫機械の稼働の可視化と効率化(R2)
- ・ハウス内温度管理による品質安定化、鳥獣害対策の効率化(R3)
- ・AIを圧用した作物障害画像診断システム構築 (R4~)



久米島町におけるGPSを活用した収穫管理

## ※参考(関連): UFSMA(うふすま)プロジェクト

琉球大学を中心とする南大東スマート農業実証コンソーシアムが、農林水産省の「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」を活用し実施。(R4より第2期プロジェクトが開始)



- トラクタやハーベスタなどに、ロボット技術の応用であるGNSS自動操縦システムを装着し、植付から一貫した精密・超省力栽培体系を実証
- ドローンやIoTセンサーを用いて生育や気象情報などを収集・解析し、データに基づいた高度ICT農業システムを実証

## <林業(R2~)>

- ・リモートセンシングによる森林資源や微地形情報の精度向上とクラウド管理による情報の共有と一元化

## <水産業(R4)>

モズクの安定生産と効率化

- ・養殖場における水温等の環境データの可視化
- ・ドローンを活用した漁場環境(周辺藻場の状況等)把握

### 現状 モズクの生産は不安定

#### 【要因】

水温 日照  
水質(塩分、栄養塩等)  
その他(食害生物 雑藻 赤土)

#### 【対処】

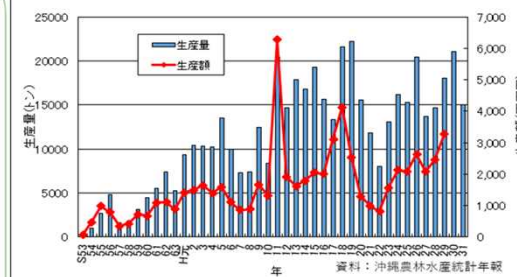
- 水温変動の長期モニタリング体制構築(各養殖場で地形環境等が異なることから個別にモニタリングする必要がある)→データロガーを各養殖場に設置し水温、塩分のデータを蓄積していく。
- ドローン空撮によるモズク生育状況、周辺環境の記録

+高水温に耐性があるモズク種苗の系統選別・育種(水産海洋技術センター海洋資源・養殖班)

⇒ 漁業者との共同試験・技術開発

モズクの安定生産・生産効率 ↑

モズクの生産量と生産額の推移



ドローン空撮による生産状況把握・環境記録→流通を含めた生産対策に活用

## 【今後、想定される活用方法】

- ・栽培技術の見える化による営農サポート
- ・作業管理や生産予測による経営管理
- ・流通関連データとの関係による需給調整 など



## 6 成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備

### 基本的な考え方

農林水産業の競争力強化や産地収益力を高め、本県の一次産業を災害にも強い成長産業とするため、**地域特性と多様なニーズに対応する幅広い生産基盤の整備や農山漁村地域の強靱化に取り組む**

### 施策・事業の展開

#### (1)生産性と収益性を高める農業生産基盤の整備

- ・地域の営農形態や供給水量に応じたスプリンクラーや給水栓等かんがい施設の整備(P73 14行目)
- ・スマート農業の実装を可能とする農地の整形と大区画化(P73 20行目)
- ・気象災害に強い園芸施設等の整備及び補強・改修の支援(P73 23行目)
- ・草地や畜舎等畜産基盤の総合的な整備(P73 25行目)

#### (2)自然環境に配慮した森林及び林業生産基盤の整備

- ・森林が発揮することを期待されている機能に応じた適切な森林の整備・保全の推進(P74 10行目)
- ・保安林における防風・防潮林の維持造成や荒廃山地の復旧施設の整備等の推進(P74 12行目)
- ・森林病虫害の生態特性に応じた防除(P74 13行目)

#### (3)水産物の生産性を高める生産基盤の高度化

- ・漁港の防波堤や防風施設等の整備による台風時における漁船の安全係留の確保、就労環境の改善のための防暑施設や浮桟橋等の整備(P74 29行目)
- ・高度な衛生管理に対応した岸壁、荷さばき施設、冷凍・冷蔵施設等の一体的な整備(P74 35行目)
- ・水産業を核とした漁村地域の活性化のための漁港環境施設等との一体的な推進(P75 3行目)
- ・漁場機能維持のための赤土等流出対策及びオニヒトデ除去等の実施(P75 6行目)

#### (4)農山漁村地域の強靱化対策の推進

- ・土壌浸食の抑制や排水対策、ため池等の防災対策、高潮対策等を実施(P75 25行目)
- ・農地防風施設や排水路等の適切な維持管理に加え、「防風林の日」等の啓発活動を推進(P75 28行目)
- ・漁港施設の効率的な維持管理を行うとともに機能保全計画の見直しや予防保全型の老朽化対策を実施(P75 36行目)
- ・国の施策と連携し、適切な機能診断・保全計画に基づく対策工事を計画的に実施(P76 20行目)
- ・老朽化した海岸保全施設の持続的な機能の確保に向けて予防保全型の事業を実施(P76 26行目)

## 7 魅力と活力ある農山漁村地域の振興

### 基本的な考え方

環境との調和を基調としつつ、域資源の活用や多面的機能の維持・発揮による農山漁村地域の活性化に取り組む

### 施策・事業の展開

#### (1) 環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進

- ・家畜排せつ物等有機性資源の有効活用の促進(P77 13行目)
- ・食品残渣等を安全で高品質の家畜飼料として再生するエコフィードの利用の推進(P77 18行目)
- ・水産物加工残渣利用技術の開発、食品等への再利用の推進(P77 22行目)
- ・農業用廃プラスチック資材等の適正処理の推進(P77 35行目)
- ・土づくりと併せてエコファーマー及び特別栽培農産物を生産する農家の育成・支援及び販路拡大に向けた支援(P78 19行目)
- ・赤土等流出の実態に応じ、営農支援の強化、ほ場勾配の抑制、グリーンベルトの設置や沈砂池等の設置や堆積した土砂の除去などの総合的な対策の強化(P78 35行目)

#### (2) 地域資源の活用・域内循環の創出による地域の活性化

- ・地域資源を活用したバイオマス発電や営農型太陽光発電など地産地消型エネルギーシステムのモデル構築と促進(P79 27行目)
- ・観光業や食品加工業など他産業と連携した地域・県内外向け商品開発モデルの構築(P80 2行目)
- ・付加価値の高い加工品の創出に向けた商品開発人材の育成や高度な加工技術を集約した加工施設整備支援(P80 4行目)

- ・グリーン・ツーリズムを含めた体験交流プログラムの提供を行う人材・組織の育成や体験・滞在型施設の整備等の促進(P80 22行目)
- ・森林環境教育や森林セラピー等に精通した人材の育成・確保及び森林公園等の施設の充実(P80 26行目)
- ・大型定置網での漁獲物取り上げなどの「体験漁業」や「見せる漁業」などのブルー・ツーリズムを実施(P86 28行目)

#### (3) 地域が有する多面的機能の維持・発揮

- ・農山漁村の風景、歴史・文化資源の保全等の多面的機能の維持・発揮(P81 20行目)
- ・漁港・漁村の環境を形成するため、植栽、休憩所、運動施設、集落道等の整備(P81 25行目)
- ・景観や親水性に配慮した護岸施設や養浜等の海岸保全施設の整備(P81 26行目)
- ・農地、農業用施設等の適切な維持保全活動や農村環境の質的向上活動を支援(P81 33行目)
- ・中山間・離島地域の耕作放棄を防止(P81 35行目)
- ・集落排水施設、集落道、防災安全施設等の定住環境の整備(P82 18行目)

圏域別施策展開(主なキーワード)

○農畜産業

- ・さとうきび、パインアップルの生産振興
- ・ゴーヤー、かぼちゃ、スイカ等の野菜、輪ぎく等の花き、マンゴー等の果樹の振興
- ・地域特産物の高付加価値化、ブランド化、6次産業化の推進、農産加工施設の整備
- ・肉用牛やアグー等の独自ブランドの育成・拡大、飼養管理技術の向上や優良種導入、家畜伝染病等の防疫対策の強化
- ・酪農及び養鶏の生産振興

○水産業

- ・ソデイカ、海ぶどう、モズク等の戦略品目の生産振興
- ・スジアラ等の近海魚類の資源管理、栽培漁業センターを核とした水産技術の開発・普及

○林業

- ・森林の利用区分に基づいた自然環境に配慮した森林施業、森林の環境教育の場として総合利用を推進
- ・木材やきのこ類の情報発信の強化、特性等を生かした高付加価値化

○基盤整備等

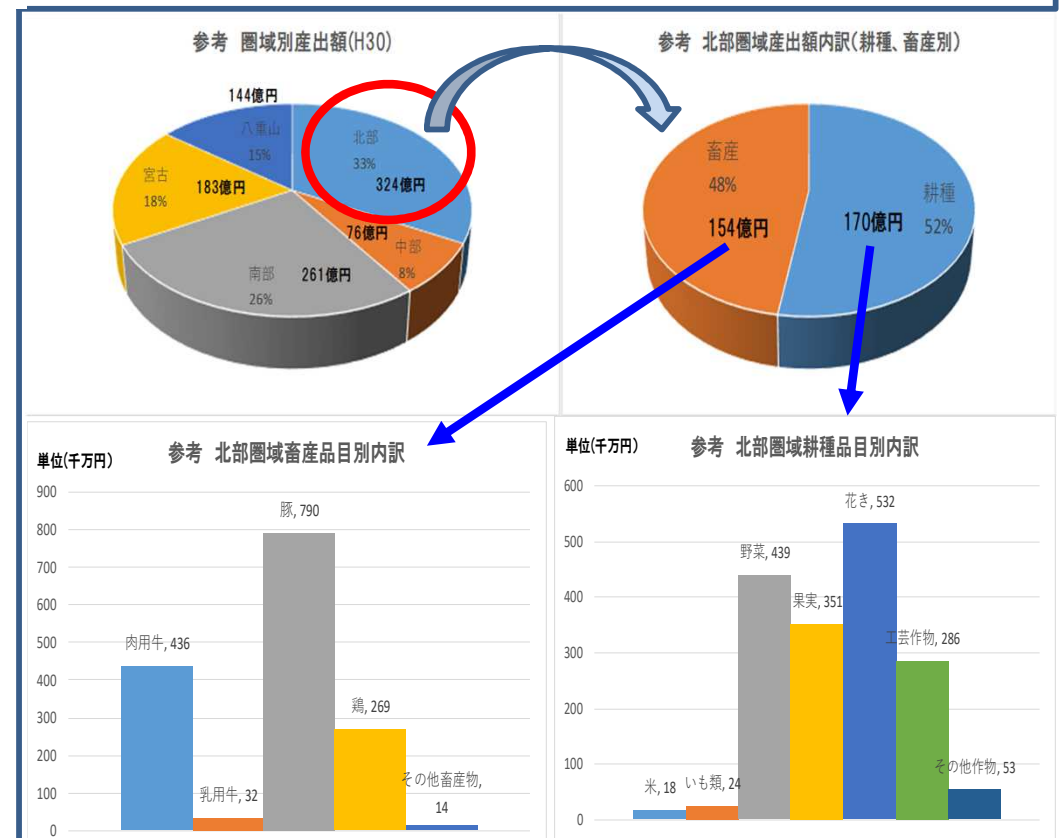
- ・かんがい施設や区画整理等の生産基盤整備、農業水利施設等の長寿命化、防風林等の農地保全対策
- ・漁港・漁場等の生産基盤施設の維持更新、水産物の生産、加工、流通機能の強化
- ・多面的な機能発揮に向けた適切な管理や治山施設等の整備

○その他

- ・県立農業大学校の移転と同学校を拠点とした担い手育成推進
- ・グリーンツーリズム等による交流・体験及び滞在拠点の形成
- ・観光産業との連携や多面的機能の維持、発揮

○離島地域

- ・さとうきび増産、生産者の所得安定及び製糖事業者の経営安定化に向けた支援、黒糖の販路開拓等による需要拡大
- ・地域特産物を活用した特産品開発、観光産業等と連携した6次産業化の展開や販路拡大
- ・肉用牛、輪ぎくやらっきょう、とうがん、水稻等の生産振興



圏域別施策展開(主なキーワード)

○農畜産業

- ・**ゴーヤー、さやいんげん、オクラ、トマト**等の野菜、**きく、洋ラン**等の花きの産地育成など、都市地域に近い立地条件を生かした**都市近郊型農業の促進等**
- ・**かんしょ**等の特産品の**高付加価値化、ブランド化、6次産業化**の推進、農産加工施設の整備
- ・さとつきび振興を支える**本島唯一の製糖施設の高度化促進**
- ・**子牛や子豚の育成率の向上、家畜排水等の環境対策強化**
- ・飼養管理技術の向上や家畜伝染病等の防疫対策の強化
- ・**酪農及び養鶏**の生産振興

○水産業

- ・**モズク養殖業やパヤオ漁業**の安定生産・流通体制確立のための関連施設の整備
- ・**水産物加工品の開発促進、高付加価値化**、資源管理型漁業の展開

○基盤整備等

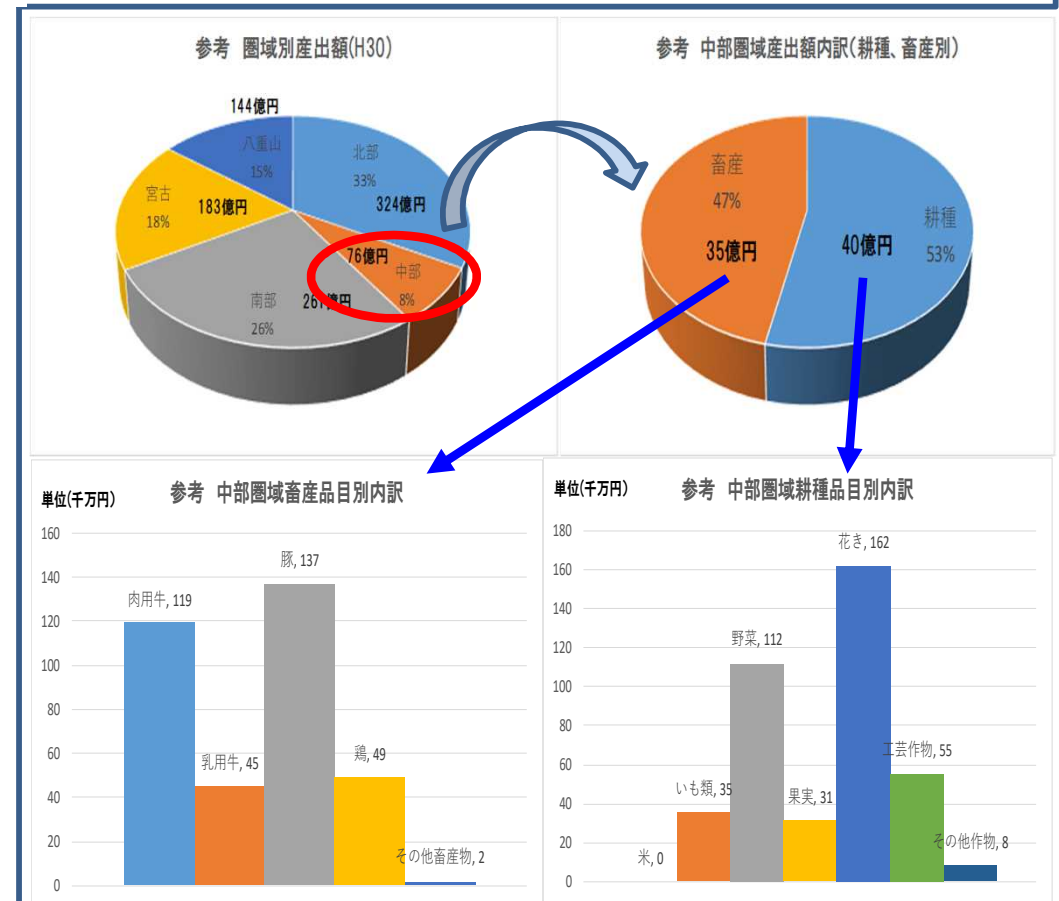
- ・**かんがい施設や区画整理等**の生産基盤整備、農業水利施設等の**長寿命化**
- ・漁港・漁場等の生産基盤施設の**維持更新**
- ・自然環境に配慮した**海岸保全施設や防風・防潮林等の整備**

○その他

- ・**グリーンツーリズム等による交流・体験及び滞在拠点の形成**
- ・**観光産業との連携や多面的機能**の維持、発揮

○離島地域

- ・**にんじんをはじめとする農産物の生産振興**等(津堅島)
- ・農業や水産業と連携した**グリーンツーリズムやブルーツーリズム**などの**体験・滞在型観光の促進**(伊計、宮城、平安座島等)



圏域別施策展開(主なキーワード)

○農畜産業

- ・**きく、ゴーヤー、さやいんげん、かぼちゃ、オクラ、ピーマン、にんじん、マンゴー**等の拠点産地育成・強化など**都市近郊型農業の振興**
- ・**さとうきび、かんしょ優良種苗の増殖普及**
- ・特産品の**高付加価値化、ブランド化、6次産業化**の推進、農産加工施設の整備
- ・**子牛や子豚の育成率の向上、家畜排水等の環境対策強化**  
**山羊の活用**促進
- ・飼養管理技術の向上や、家畜伝染病等の防疫対策の強化
- ・**酪農及び養鶏**の生産振興

○水産業

- ・**糸満漁港関連施設、高度衛生管理型流通施設の整備**、鮮魚市場統合
- ・**水産物加工品の開発促進、高付加価値化、資源管理型漁業の展開**

○基盤整備等

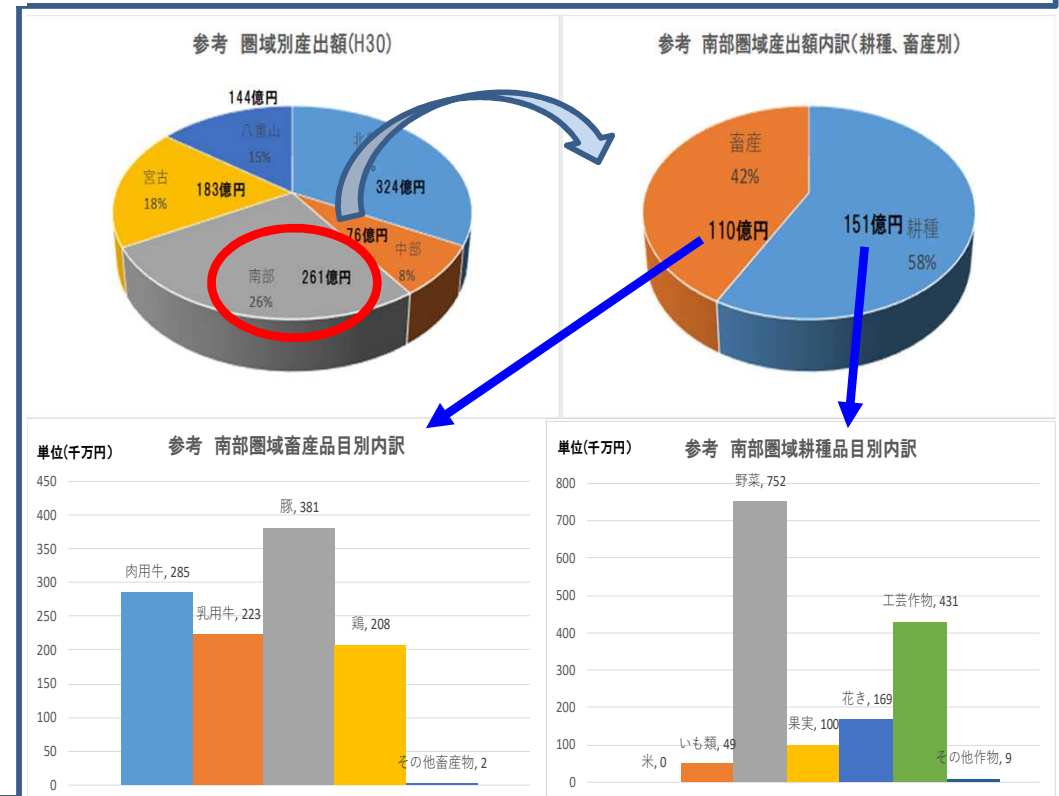
- ・**糸満漁港等の拠点施設の機能強化**による競争力強化
- ・**湧水・雨水等を利用した水源確保、かんがい施設や区画整理等**の生産基盤整備、農業水利施設等の**長寿命化**
- ・**漁港・漁場等の生産基盤施設の維持更新**
- ・自然環境に配慮した**海岸保全施設や防風・防潮林等の整備**

○その他

- ・**グリーンツーリズム等による交流・体験及び滞在拠点の形成**
- ・**観光産業との連携や多面的機能**の維持、発揮

○離島地域

- ・**さとうきび増産、生産者の所得安定及び製糖事業者の経営安定化**に向けた支援、**黒糖の販路開拓等による需要拡大**
- ・地域特産物を活用した**特産品開発、観光産業等と連携した6次産業化の展開や販路拡大**
- ・**農業用水源や防風林等の生産基盤の整備**
- ・**海洋深層水を利用した海ブドウ、クルマエビ等の生産振興**



圏域別施策展開(主なキーワード)

○農畜産業

- ・さとうきび、肉用牛、葉たばこ等の生産振興
- ・ゴーヤー、かぼちゃ、とうがん等の野菜、マンゴー等の果樹の振興と環境への負荷軽減
- ・含蜜糖生産者の所得安定及び製糖事業者の経営安定化に向けた支援、黒糖の販路開拓等による需要拡大
- ・子牛の拠点産地化、肥育牛のブランド化、家畜排水等の環境対策や飼料自給率の向上
- ・飼養管理技術の向上や、防疫資材の備蓄等の防疫対策の強化

○水産業

- ・スジアラ、シロクラベラ、マチ類等の近海魚介類の資源管理
- ・モズクやフルマエビ等のつくり育てる漁業の推進とブランド化
- ・水産物流通加工施設等の整備による流通機能の強化

○基盤整備等

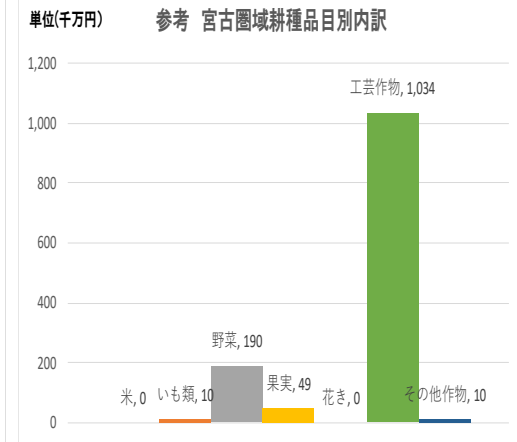
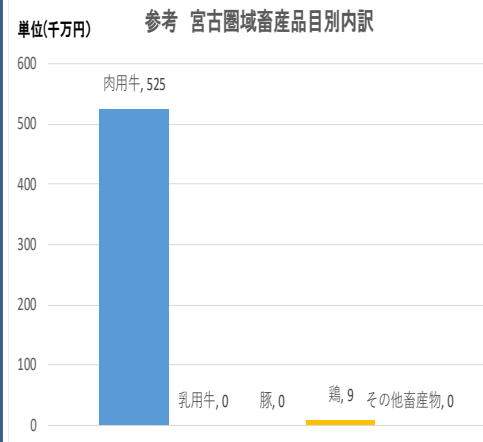
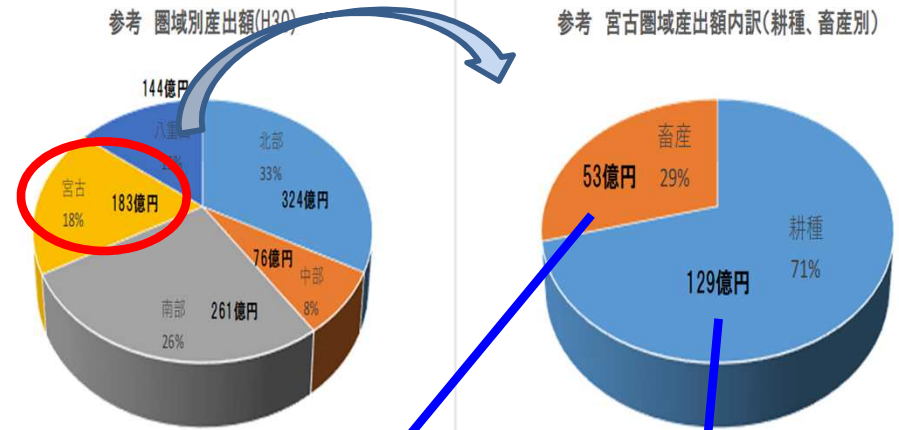
- ・地下ダム等と一体となったかんがい施設や区画整理等の生産基盤整備、防風林整備、農業水利施設等の長寿命化
- ・漁港・漁場等の生産基盤施設の維持更新
- ・漁場環境の保全、漁業秩序の維持・確保
- ・自然環境に配慮した海岸保全施設や防風・防潮林等の整備

○その他

- ・グリーンツーリズム等による交流・体験及び滞在拠点の形成
- ・観光産業との連携や多面的機能の維持、発揮

○離島地域

- ・黒糖の販路開拓等による需要拡大、山羊を活用品目として位置付け推進



圏域別施策展開(主なキーワード)

○農畜産業

- ・さとうきび、パインアップル、水稻、かんしょ等の生産振興
- ・かぼちゃ、オクラ等の野菜、レッドジンジャー、ヘリコニア等の花き、マンゴー等の果樹の振興と環境への負荷軽減
- ・含蜜糖生産者の所得安定及び製糖事業者の経営安定化に向けた支援、黒糖の販路開拓等による需要拡大
- ・子生の拠点産地化、肥育生のブランド化等、産地形成推進や環境対策 飼料自給率の向上
- ・飼養管理技術の向上や、防疫資材の備蓄等の防疫対策の強化

○水産業

- ・マチ類等の近海魚介類の資源管理
- ・モズクやハタ類等のつくり育てる漁業の推進とブランド化
- ・水産物流通加工施設等の整備による流通機能の強化

○林業

- ・森林整備による水源かん養、潮風害防備など、多様な機能の維持 発揮
- ・森林ツーリズム等による多面的活用

○基盤整備等

- ・再編更新による既存水源の有効活用と、かんがい施設や区画整理等の生産基盤整備、防風林整備
- ・漁港・漁場等の生産基盤施設の維持更新
- ・漁場環境の保全、漁業秩序の維持・確保
- ・自然環境に配慮した海岸保全施設や防風・防潮林等の整備

○その他

- ・グリーンツーリズム等による交流・体験及び滞在拠点の形成
- ・観光産業との連携や多面的機能の維持、発揮

○離島地域

- ・黒糖の販路開拓等による需要拡大
- ・パインアップル、熱帯果樹、かぼちゃ、水稻、薬用作物等の生産振興

